

ノーリフティングケア三原則

持ち上げない・抱え上げない・引きずらない

メンタルヘルスケア三原則

持ちつづけけない・抱えこまない・引きずらない



ユニット型特別養護老人ホーム ウエルプラザやまだ荘

名称 ウエルプラザやまだ荘（ユニット型特別養護老人ホーム）

所在地 高知県香美市土佐山田町秦山町3丁目4番20号

設置・経営主体 社会福祉法人 土佐香美福祉会

定員 全室個室8ユニット76床 併設短期入所生活事業12床

平均要介護度 4.34（令和3年4月）

介護職員数47名 1.7対1

配置職員 看護職員5名 機能訓練指導員1名 生活相談員3名

介護支援専門員3名 管理栄養士1名

ウエルプラザやまだ荘、ノーリフティングケアの歴史

1	増床移転直後のノーリフト	2	労働安全のための ノーリフト宣言	3	働きやすく、 快適な生活に向けて
	平成31年2月に移転開設した際に、風呂場に天井走行式リフトやフロアに床走行式リフトを導入するも、基本的な身体の使い方やノーリフトマネジメントが確立しておらず、業務での腰痛発生が後を絶たなかった。		「用具、機器などがあるだけ」から脱却するため、また身体負担箇所や腰痛を根絶するために、ノーリフティングケア委員会の立て直しを行い、職員が安全に働くためのノーリフト宣言をする。		ノーリフトに関する機器や用具を、より効果的に効率的に使用するために、新たに機器の導入を計画する。また働く環境でのリスクの抽出強化のため、ヒヤリハットに取り組みPDCAサイクルの習慣化を強化する。
2017	ノーリフティングケアに着手。福祉就労環境改善推進事業費補助金を活用し、車椅子及び移乗用具等を導入。	2020.4	労働安全を施設の取り組みに掲げ、職員のためのノーリフティングケアに着手する。	2021.6	高知県介護福祉就労環境改善推進事業費補助金を活用し、リフト及びスタンディングリフト、そして電動昇降車椅子の導入申請を行う。
2018	ノーリフティングケア委員会を立ち上げる。	2020.8	マイスター研修に、施設長他9名が受講し修了する。	2021.8	より安全に働くことができるように、職場環境のリスク抽出～改善のため、ヒヤリハットを業務に導入する。PDCAサイクルで習慣化できるように取り組みを始める。
2019	高知県福祉就労環境改善推進事業のノーリフトマイスター研修を受講。フロアリーダー他3名がマイスター取得。	2020.10	厚労省パイロット事業に参加し、全体最適化カテゴリーで、排泄ケアにおける業務効率改善に取り組む。	2021.9	スライディングシートを全居室に完備。またスライディングボードを追加導入し、入居者2.5人に対して1枚の使用が可能となる。
		2021.1	ノーリフティングフォーラムに参加し、厚労省パイロット事業で排泄ケアにおける業務効率改善に取り組んだ報告を行う。	2021.10	電動昇降車椅子4台導入。平行移乗の効率化に取り組む。

労働安全への取り組み

2020年よりノーリフティングケア委員会を労働安全の取り組みの軸として位置付けています。

施設長
マイスター

三谷 平通

Mitani Masamichi

統括主任県生活相談員
マイスター 安全対策担当者

宮本 典子

Miyamoto Noriko

5階ユニットリーダー
マイスター

原田 隆司

Harada Ryuuji

副施設長兼医務課長
健康管理担当

佐々木 妃佐子

Sasaki Hisako

主任生活相談員
マイスター

小笠原 正貴

Ogasawara Masaki

4階フロアリーダー
マイスター

井上 浩太

Inoue Kouta

業務課長兼機能訓練指導員
リーディングマイスター

久保 貴行

Kubo Takayuki

介護主任
マイスター

三木 哲郎

Miki Teturou

3階ユニットリーダー
マイスター

池田 正明

Ikeda Masaaki

介護主任
マイスター

田中 甫味

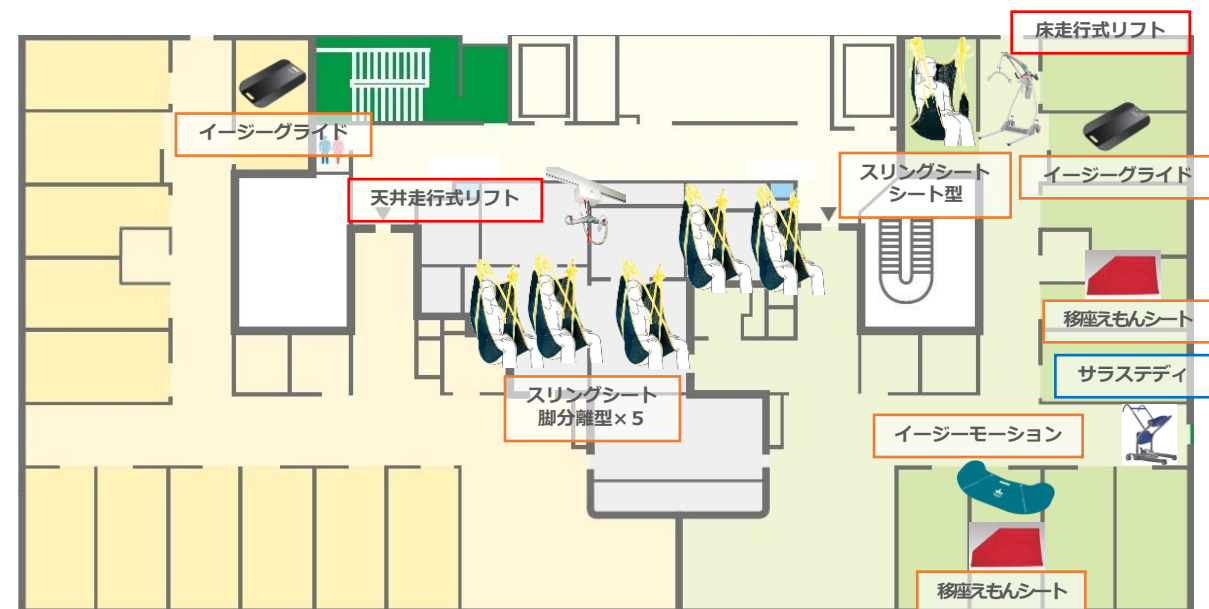
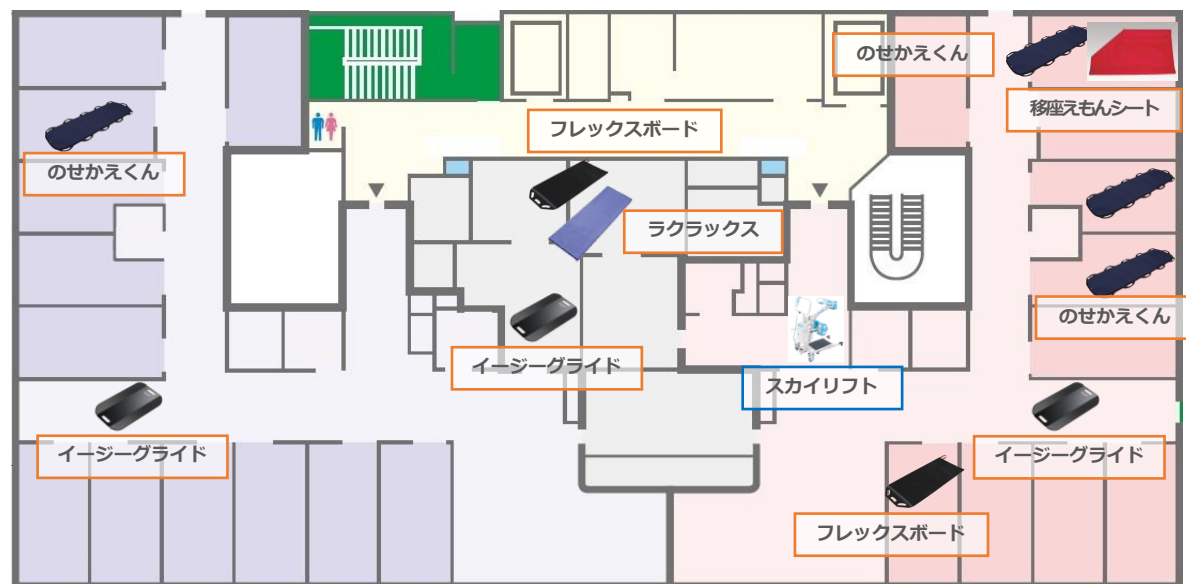
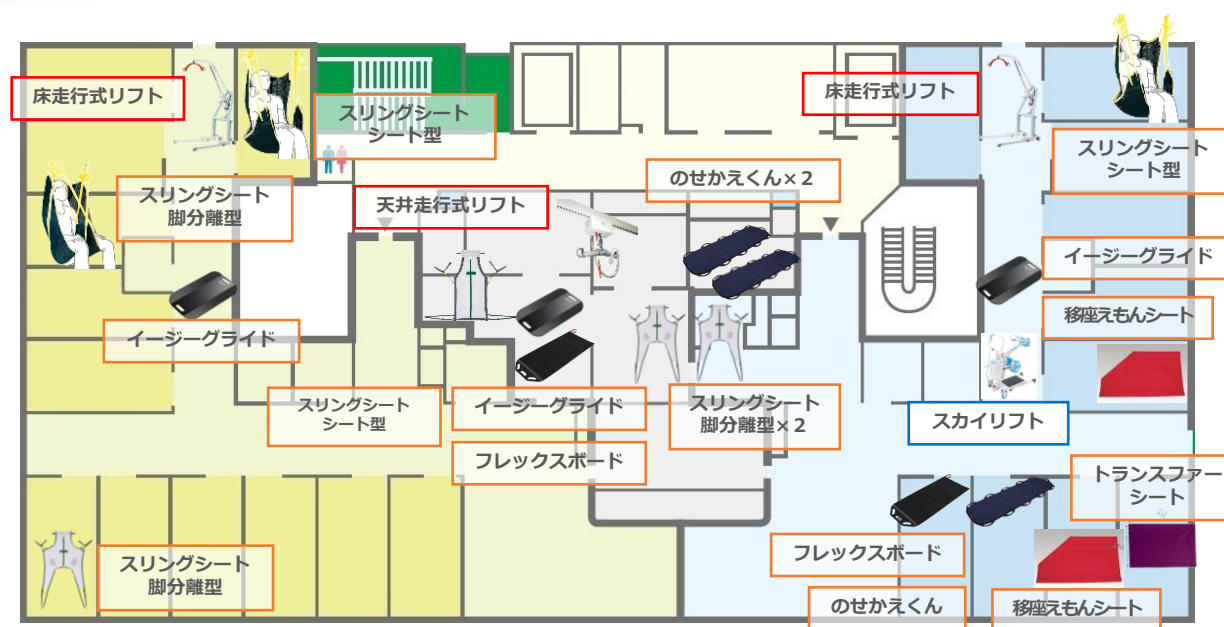
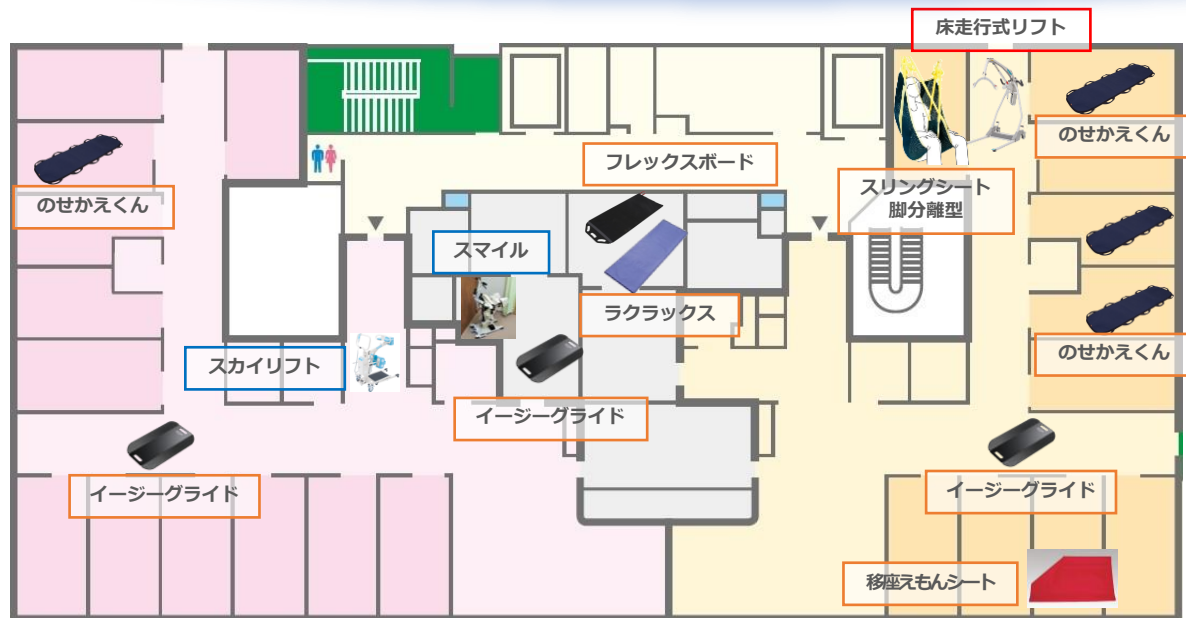
Tanaka Fumi

2階フロアリーダー
マイスター

中村 祐介

Nakamura Yuusuke

昨年度までに備わっていた、ノーリフティングケアに関する機器用具



業務負担及び効率改善のため、新たな機器の導入

電動昇降式車椅子（株）ダイレオ ネオシエスタ（各フロア1台設置）

低い位置での移乗介助の見直し、そして移乗回数削減のため導入。
一回の入浴介助時間、平均で3分40秒削減が可能となった。
業務負担に関しては、現在調査中。



業務負担軽減と健康維持のために

豊島株式会社 スライディングシート スピラドゥ（全居室、風呂場に配備）



業務負担軽減と健康維持のため…そして感染症拡大予防

業務負担軽減	ベッドへの移乗後、ギャッチアップ・ダウン後、体位変換を行う際に使用。特にスライディングボードでベッドへ移乗した後、臥床位置を整えるために大活躍しています。
健康維持	圧迫や摩擦による褥瘡の予防と改善。臥床時間が長い入居者の体圧分散や褥瘡を認めた部位に摩擦が働かないようにするために敷く。 やまだ荘ではスピラドゥを導入した入居者の褥瘡発生はゼロ。また皮膚状態悪化を認めた入居者に使用すると、全員が状態改善につながっています。

今年度、新たに加わった、ノーリフティングケアに関する機器用具

① 電動昇降式車椅子

4台（各フロア1台）

② スライディングシート

76床全居室 風呂場

③ スライディングボード

11枚追加購入（入居者2.5人に対して1枚）

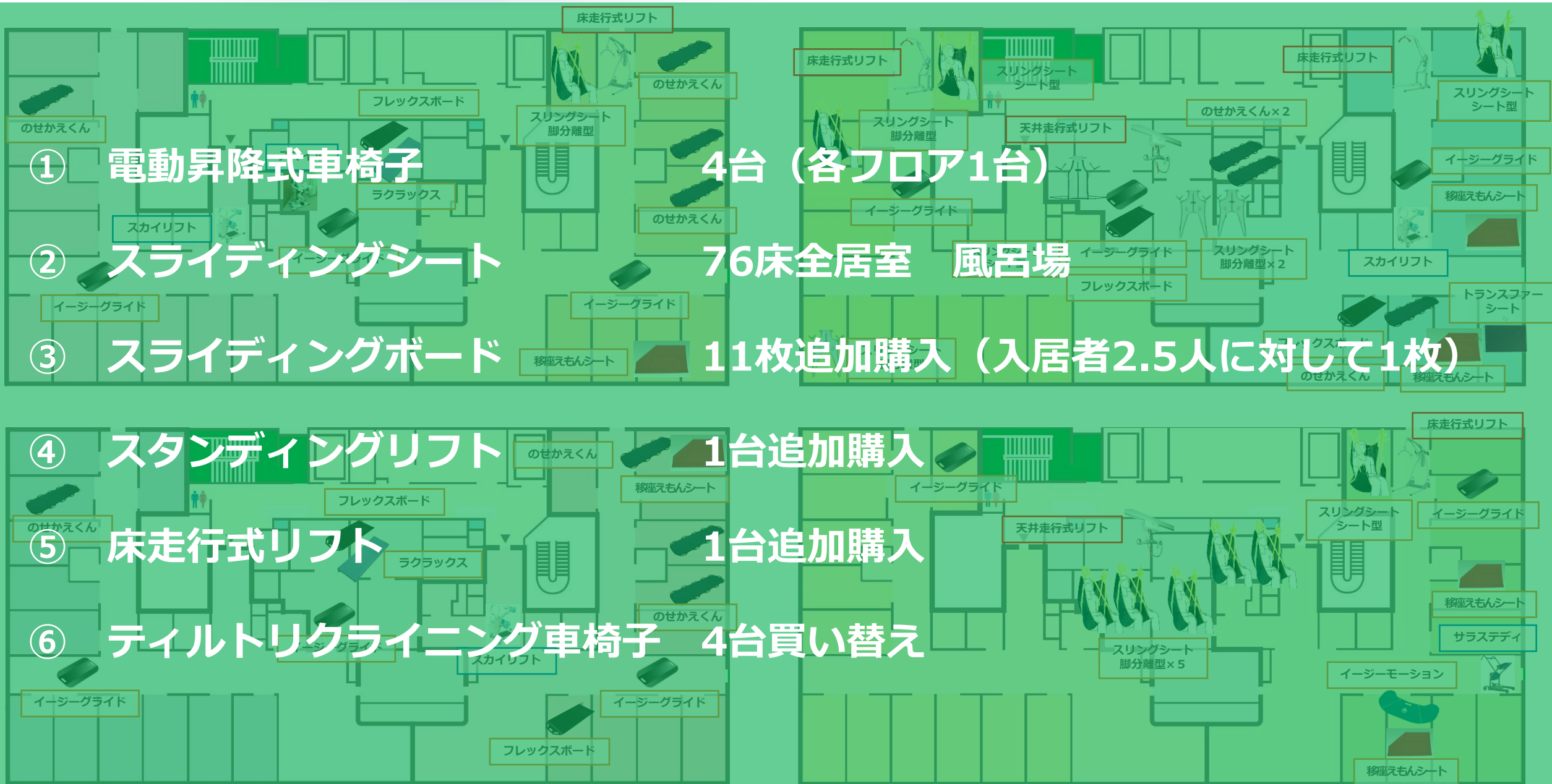
④ スタンディングリフト

1台追加購入

⑤ 床走行式リフト

1台追加購入

⑥ ティルトリクライニング車椅子 4台買い替え



現在のやまだ荘の状況

① 業務上発生した新たな腰痛	0人	労働安全対策実施を施設で宣言して以降（2020年10月以降）
② 褥瘡発生	0人	新規入居時及び退院時持ち込みはカウントしていない
③ 業務効率（排泄介助）	1日トータル 172分の時間削減 に繋がった。	施設全体4フロア分の合計
④ 業務効率（入浴介助）	1日トータル 88分の時間削減 に繋がった。	施設全体4フロア分の合計

今後の取り組み

事故予防・ヒヤリハット	ウエルプラザやまだ荘では、入居者の安全を保障すると同時に、職員の労働安全に関しても、事故防止安全対策委員会、ノーリフティングケア委員会で検討を重ねています。特に事故予防に力を入れ、「ヒヤリハット」対策を強化しています。現場の職員がヒヤリハットに敏感となり、原因分析、対策立案、評価までのPDCAサイクルをフロア職員で行えるように整備を行っています。
入浴介助の完全ノーリフト化	入浴介助で臀部を洗う際に、一部スタンディングリフトを使用して負担なくケアができるようになっているが、フロア環境によっては、2名での抱え上げが残存しています。今後風呂場環境の見直しを委員会で話し合い、入浴介助時に一切身体負担のない、完全ノーリフティングケアを目指していきます。